

2020年8月28日（金）

報道関係者 各位

速報日本労働組合総連合会（連合）
企画局（TEL：03-5295-0510）**連合本部夏休み特別 LINE 労働相談****我慢しないでLINEしよう**

～アルバイトだからといってコロナだからといってあきらめていませんか？～

8月25日（火）・26日（水）

集計結果【速報】

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、連合には多くの労働相談が寄せられています。日を迫うごとに雇用の悪化も深刻な状況となっている中、その影響はパートタイマー、アルバイト、派遣労働者などといった立場の弱い労働者へしわ寄せが広がっています。これらの状況を踏まえ、通常の労働相談ダイヤル、労働相談メールに加え、無料通信アプリ「LINE」による労働相談を期間限定（8月25-26日）で実施しました。速報として労働相談内容の集計結果をご報告します。

【集計結果～全体の特徴～】**1. LINE 相談件数 117 件。パワハラなど「差別関係」の相談がトップ**

LINE 相談件数は 2 日間で 117 件、年代別では、40 代からの相談がトップで約 35%強、次いで 30 代からの相談が約 28%と中間年齢層からの相談で約 6 割を占めた。性別では女性が約 65%強、雇用形態別では正社員が約 53%を占めた。正社員以外からの相談ではパートタイマーが約 18%、アルバイトからの相談が約 14%となった。相談内容別では「差別関係（パワハラ、嫌がらせ）」がトップで約 18%、次いで「雇用関係（休業補償や解雇・退職強要・契約打ち切りなど）」、「労働契約（雇用契約・就業規則）」とほぼ同率という結果となった。相談内容には、「パワハラを受け適応障害に。転職したいがコロナ禍により次の職が見つからず、我慢して今の仕事を続けざるを得ない」、「パートタイマー・アルバイトからは「シフト削減や勤務時間が一方的に短縮され生活が苦しい」といったコロナ禍を背景としたやるせない声が寄せられた。また、具体的な労働相談だけでなく心のケアを必要とする、LINE だからこそつぶやける、せつない声も寄せられた。

2. 主な相談内容

- 社長から夜中など業務時間外にもメールで業務指示があり、返信しないと暴言をはかれる。直属の上司に相談しても具体的な対応策も講じられず最近ではストレスから吐き気も襲う。転職したいがコロナ禍で次の職が見つかるかわからない中、生活費を稼ぐため我慢して働いている。（正社員・女性・30代・／東京）
- パワハラを受け適応障害・うつ病と診断され、医師からは退職も促されたがコロナ禍で次の職が見つからず今の仕事を続けざるを得ない。労災申請への協力も得られない。（正社員・女性・20代・医療・福祉／岡山）
- コロナの影響を理由にシフトに入れてもらえず、「休業指示ではないから」と休業手当ももらえない。（アルバイト・女性・30代／埼玉）
- 3年間アルバイトとして働いている。平均で週に4～5日間シフトを組まれていたが、来月からは半月に3日間しか組まれていなかった。このままでは生活ができない。（アルバイト・男性・30代・サービス業／神奈川）
- 疲れている。会社に行くのが怖い。でも仕事を辞める勇気もない。葛藤が続いている…。（正社員・女性）

<問い合わせ先>労働相談センター（フェアワーク推進センター内）

Tel. 03-5295-0555／Mail: jtuc-fairwork@sv.rengo-net.or.jp